

- 問1 1992年にリオデジャネイロで開催された地球サミットや、1997年に採択された京都議定書の流れを汲み、2015年の第21回気候変動枠組条約締約国会議（COP21）において、新たに採択された国際的な合意の名称を選びなさい。（2018年 長野県公立入試 類似）
1. ラムサール条約                      2. ウィーン条約                      3. ワシントン条約                      4. パリ協定
- 問2 地球を両手で包み込むようなデザインが施され、「ちきゅうにやさしい」という言葉が添えられた「エコマーク」という環境ラベルがあります。このマークを製品に表示する主な目的として、最も適切なものはどれですか。（2018年 和歌山県公立入試 類似）
1. 製品が環境保全に役立つことを示し、消費者が環境に配慮した製品を容易に選択できるようにするため      2. 製品の耐久性が他社製品よりも優れていることを証明し、買い替えの頻度を減らすよう促すため      3. 製品がその国の伝統的な製造工程を経て作られたことを保証し、文化を保護するため      4. 製品の価格が非常に安く、家計の負担を軽減できることを消費者に伝えるため
- 問3 2015年に採択された、地球温暖化を防止するための国際的な枠組みである「パリ協定」について、それ以前の「京都議定書」と比較した際の特徴として最も適切なものはどれですか。（2022年 香川県公立入試 類似）
1. 先進国にのみ温室効果ガスの削減義務を課し、目標の達成を求めること      2. 絶滅のおそれのある野生動植物が過度に取引されるのを防ぐため、輸出入を制限すること      3. 特に水鳥の生息地として重要な湿地の保全を、国際的な協力のもとで進めること      4. 発展途上国を含む全ての国が、温室効果ガスの削減目標を作成して対策に取り組むこと
- 問4 地球温暖化対策の国際的な枠組みについて説明した次の文章のうち、2015年に採択された「パリ協定」の内容として最も適切なものはどれですか。（2020年 埼玉県公立入試 類似）
1. 先進国と発展途上国の双方が、自主的に排出削減の目標を定めて対策を進めることに合意した。      2. 希少な動植物の国際的な取引を制限することで、生態系の保全を目指した。      3. 国境を越える酸性雨の原因物質を抑制するため、特定の地域内での排出量を制限した。      4. 先進国にのみ二酸化炭素の排出削減を義務づけ、途上国には義務を課さなかった。
- 問5 現代社会において、石油、石炭、天然ガスなどの一次エネルギーのうち、自国内で生産・確保できる割合を「エネルギー自給率」と呼びます。現在の日本におけるこの割合と資源確保の状況について説明した文として、最も適切なものはどれか。（2023年 岡山県公立入試 類似）
1. エネルギー資源の多くを海外からの輸入に頼っているため、他の主要国と比較しても低い水準にある。      2. 原子力発電の割合が世界で最も高いため、国際情勢の変化が国内の物価に影響を与えることはほとんどない。      3. 再生可能エネルギーの開発が他国よりも進んでいるため、現在は輸入に頼らず自国内で全てを賄えている。      4. 石炭や天然ガスなどの資源が国内で豊富に産出されるため、他国に比べて自給率は極めて高い水準にある。
- 問6 1993年に制定され、それまでの公害対策基本法を統合・発展させた法律の目的として、最も適切な説明はどれですか。（2020年 福島県公立入試 類似）
1. 公害対策に加え、地球温暖化などの地球規模の環境保全に対する社会全体の責務を規定すること      2. 四大公害訴訟の結果を受けて、工場の操業を全国一律で停止させること      3. 国がすべての環境対策費用を負担することを定め、事業者の負担を免除すること      4. 経済発展を最優先し、環境対策については各企業の自主的な判断に任せること
- 問7 2015年に採択されたパリ協定が、1997年に採択された京都議定書と比べて画期的であるとされる理由として、最も適切な説明はどれですか。（2022年 愛媛県公立入試 類似）
1. 法的な強制力を持つ罰則規定が設けられ、目標を達成できない国に制裁を科す仕組みができたから。      2. 先進国だけでなく、発展途上国を含むすべての参加国が温室効果ガスの削減に取り組むことになったから。      3. 温室効果ガスの排出を完全にゼロにする期限を、2020年までと厳格に定めたから。      4. 二酸化炭素の排出量に応じた課税を行う「環境税」の導入が、世界すべての国で義務化されたから。
- 問8 日本の空港建設において、内陸部ではなく海上という立地を選択する背景にある「騒音対策」の仕組みとして、適切な説明はどれですか。（2017年 山形県公立入試 類似）
1. 埋め立て地を巨大な防音壁として機能させ、地下に設けた滑走路から航空機を離着陸させる仕組み。      2. 滑走路を海面に近づけることで、航空機のエンジン音が海水に吸収され、周囲に音が響かなくなる仕組み。      3. 海上は風が強いので、航空機のエンジン音を風下へ押し流し、都市部へ音が届かないようにする仕組み。      4. 空港を市街地から遠ざけ、飛行経路が住宅地の上空を通らないようにすることで、騒音の被害を物理的に回避する仕組み。
- 問9 2015年にフランスで開催されたCOP21において、地球温暖化を抑制するための新たな枠組みが採択されました。この枠組みについて、先進国だけでなく発展途上国を含むすべての参加国が自主的な排出削減目標を掲げることに合意した協定の名称を次の中から選びなさい。（2020年 埼玉県公立入試 類似）
1. ワシントン協定                      2. ラムサール条約                      3. 京都議定書                      4. パリ協定
- 問10 地球温暖化の原因となる二酸化炭素などの気体は、太陽からの光で温められた地表からの熱を吸収し、大気を温める性質を持っています。この気体の総称として正しいものはどれですか。（2021年 秋田県公立入試 類似）
1. フロンガス                      2. 窒素酸化物                      3. 硫酸酸化物                      4. 温室効果ガス
- 問11 国際社会において、北半球に多く分布する経済的に豊かな先進工業国と、南半球に多く分布する開発途上にある国々との間に生じている、所得や生活水準の深刻な経済格差のことを何と呼びますか。（2024年 北海道公立入試 類似）
1. 持続可能な開発                      2. 南北問題                      3. 南南問題                      4. モノカルチャー経済
- 問12 地球温暖化を防止するための国際的な枠組みである「気候変動枠組条約」に基づき、1995年から毎年開催されている、具体的な対策を協議するための会議を何と呼びますか。（2022年 長野県公立入試 類似）
1. APEC（アジア太平洋経済協力）      2. WTO（世界貿易機関）      3. COP（締約国会議）      4. PKO（国連平和維持活動）
- 問13 日本において環境政策と経済の両立を目指して導入された「地球温暖化対策のための税」の説明文として、空欄にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものはどれですか。「この税は、化石燃料の利用量に応じて二酸化炭素の排出量ごとに課税されるもので、排出抑制を促す目的がある。課題として、エネルギー価格の上昇によって日本の企業の（①）が低下することや、中小企業がコストを（②）することが難しいといった点が指摘されている。」（2018年 長野県公立入試 類似）
1. ①市場占有率 ②地方自治体に寄付      2. ①国内自給率 ②法人税から控除      3. ①国際競争力 ②製品価格に転嫁      4. ①労働生産性 ②広告宣伝に利用